

お詫びと訂正

本書「開成中学校 10年間スーパー過去問（2025年度用）」の中で誤りがございました。ご購入くださいました皆様には深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

◇2024年【理科】 解説解答9・10ページめ

2 問1の解答を下記のように訂正させていただきます。

(誤) 昔…イ, 現在…エ → (正) 昔…ウ, 現在…エ

2 問1の解説を下記のように訂正させていただきます。

(正) 日本で明治5年まで使われていた昔の暦を太陰^{たいいん}太陽^{たいよう}暦といい、会話文にあるように、新月から次の新月までの日数を1ヶ月とし、大の月（1ヶ月が30日）と小の月（1ヶ月が29日）を組み合わせると、1年を12ヶ月としていたが、1年の長さが太陽の動きとずれてくると、調整のためにうるう月を入れていた。一方、明治6年から現在まで日本で使われている暦は、太陽暦で、地球が太陽のまわりを1周する日数（約365.242日）に近い365日を1年の日数にしている。なお、1ヶ月の長さは、昔からのヨーロッパでの慣習から28日、30日、31日とされている。

(株) 声の教育社 編集部